

(件名) 「令和8年熊本地震」を受けて川内原発の安全確認について

(陳情の趣旨)

7月28日16時27分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の「令和8年熊本地震」が発生し、宇城市、氷川町が震度7、薩摩川内市、さつま町、長島町は震度5強と発表されました。また、内閣府が8月31日発表した「令和8年熊本地震に係る被害状況等について」では、亡くなった方38人、重傷者34人を含む負傷者368人、住家の被害36,246棟、電気・水道・ガス・交通・通信など多岐にわたる被害が記録されています。

10年前、2016年「平成28年熊本地震」が発生し、その年就任した鹿児島県知事は県民の不安に応え、九州電力へ「川内原発の停止・点検」を要望し、九州電力は特別点検を実施しました。「県原子力安全・避難計画等防災専門委員会」も設置され、すでに28回開催されています。

川内原発1号機、2号機はともに運転開始から40年を超えました。2023年には40年超えの運転延長の是非を問う県民投票条例案が県議会で審議されましたが、残念ながら賛成少数で否決されてしまいました。しかし、老朽化に加えて地震の震源の南下によって県民の不安は強まっています。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

- 1、川内原発1号機、2号機の安全確認のため、一旦停止して点検することを九州電力へ要請するように、知事へ求めてください。
- 2、「令和8年熊本地震」級の巨大地震を想定した「県原子力安全・避難計画等防災専門委員会」での検討を、知事へ求めてください。

以上